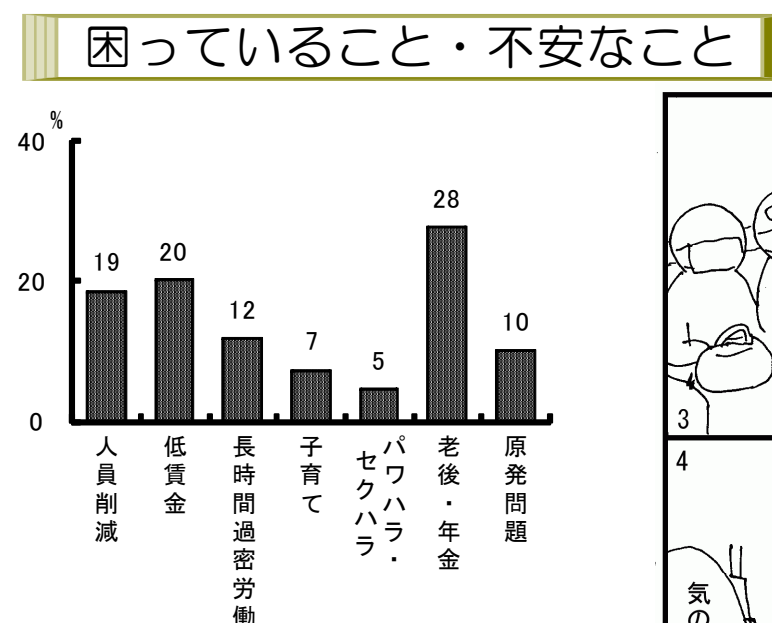
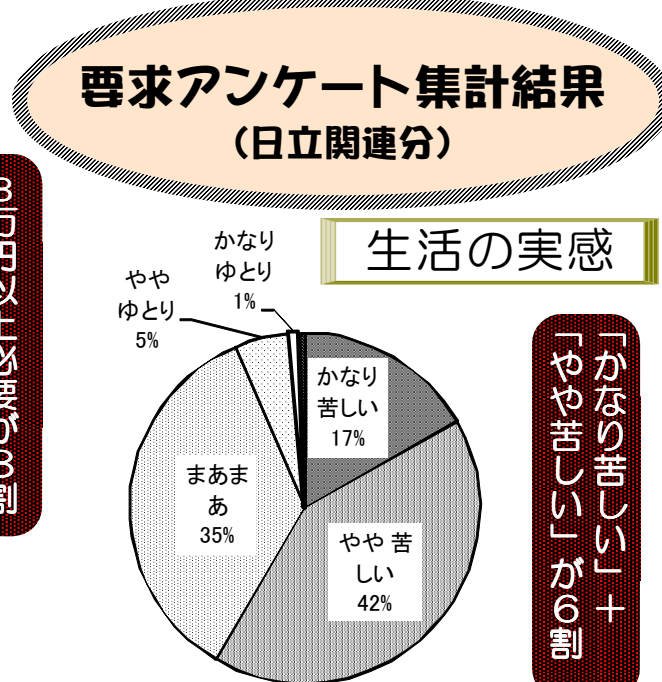
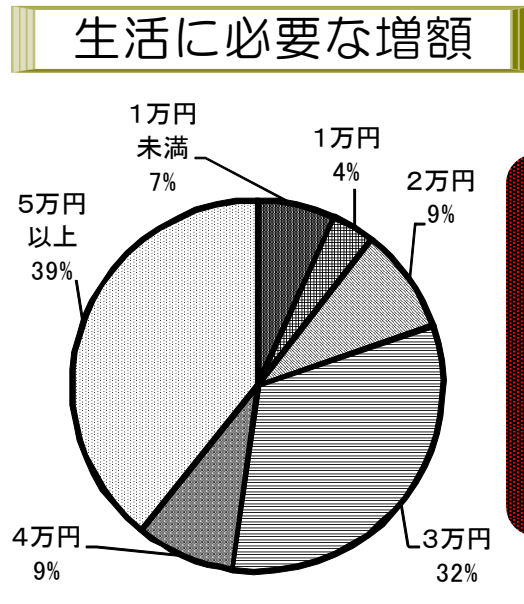


# 内部留保は増加！今こそ雇用確保と賃上げを！

● **豊かな生活を実現する先頭に**  
 多くの電機メーカーが事業の不振・業績の低迷に苦しむ中で、日立は一昨年度・昨年度の好業績に続いて、今年度も好調な業績を維持しています。今、日立には、春闘での賃上げ・雇用確保の要求を掲げ実現できる力があります。派遣社員や契約社員等も含めて、「豊かな生活を実現し企業も成長する」という道へ転換する先頭に立つ時です。

● **賃上げ・雇用確保で内需型経済発展を**  
 「企業が成長しても生活が豊かにならない」いまや多くの人がそう感じているのではないのでしょうか。こうした、企業と国民生活とのギャップが拡大する背景には、自動車・電機をはじめとしたメーカーの海外進出・グローバル化が加速し、企業の投資が国内の経済成長に結びつかないという問題があります。現在、電機メーカーの海外生産比率は約40%となっており10年前の倍近くに増大しています。日本の大企業の内部留保は、2000年度には172兆円だったものが現在267兆円にもなっており、この10年間で50%以上増加しています。大企業の内部留保の数を増やし、GDPの60%を占める個人消費を、賃上げ・雇用確保によって促す事が、内需拡大の経済発展へとつながります。


● **苦しい生活の実態**  
 日立をはじめ電機産業では、この間春闘での賃上げ（ベースアップ）がない状態が続いています。また、日本の民間労働者の平均年収は、2000年には461万円であったものが2010年には412万円となっております。電機労働者懇談会（電機懇）が現在行っているアンケートでは、右の図の通り、生活が「かなり苦しい」「やや苦しい」という回答が全体の6割にも達しています。この先、消費税の増税も進められようとしており、私たちの我慢ももう限界です。春闘で、安心して生活し働ける賃金・労働環境の実現を勝ち取りましょう。



**「人員削減」が昨年より増加 (昨年：16% → 今年：19%)**

**働きがいのある人間らしい仕事を**

★ビラや情報をホームページで見られます。  
 パソコン <http://hitachikon.net>  
 ケータイ <http://hitachikon.net/i>  
 ★★仕事、生活などの相談も受け付けます。  
 Eメール [info@hitachikon.net](mailto:info@hitachikon.net)  
 もしくは、下記のもよりの連絡先へ



QRコードにアクセス!

**日立 懇** <発行> 2013年1・2月 第199号

日立関連労働者懇談会  
 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目24-3  
 エムエフ新橋601  
 (電機労働者懇談会気付)  
 TEL&FAX (03) 6450-1777

★もよりの連絡先

茨城	090-8747-6239	(馬場)
茨城	090-6142-6153	(堀)
東京	090-3534-8626	(谷口)
神奈川	080-5060-7728	(中村)
静岡	090-9121-0602	(多田)
愛知	090-4253-1217	(成木)
大阪	06-6939-2905	(森)

# 「事業再編＝リストラ」でいいのか？

日立製作所は、「グローバル企業への加速」と「高収益経営」戦略の下、日立グループ全体で、国内事業の「事業構造改革」を断行しています。これにより、日立関連の職場では、事業所閉鎖や人員削減など、労働者に苦悩を強いるリストラが強行され「不安で仕事どころではない」「断っても何度も面談させられる」「仕事があるのに減られる」など、不安が広がっています。この1年

間でも、日立GSTを米ウエスタンデジタル社へ売却、ルネサスエレクトロニクスが「抜本的構造対策」で7446名の早期退職（5000名追加削減）、日立電線が「事業体制再編」で国内人員1600名削減（追加削減600名）、情報機器の半導体製造終了で従業員540名を配置転換、（日立超L）が「事業構造改革」で早期退職による400名削減（募集）と出向者100名の転籍です。

会社の経営失敗から目先の業績改善のために、労働者に苦悩を押し付けることは許せません。関連、下請企業への影響も甚大で、地域経済や雇用にも大打撃を与えます。また、人減らしは、人財流出、技術力低下、従業員のモチベーション低下を招き、企業の衰退を招くことにもなります。日立は2年連続の過去最高益で、内部留保は2兆7千億円超にもなっています。この一部を活用すれば日立グループ全体の雇用は守れます。労働組合は会社の人員削減施策を「やむなし」とせず、労働者の雇用と生活を守るための取り組みが求められます。

日立の連結経営実態(有価証券報告書より)

		2010年3月期 (A)	2012年3月期 (B)	偏差 (B)-(A)
経 営	売上高(億円)	89,685	96,658	6,973
	営業利益(億円)	2,021	4,122	2,101
	営業利益率	2.3%	4.3%	2.0
	当期純利益(損失)(億円)	△ 1,069	3,471	4,540
	1株当たり年間配当金(円)	0	8	8
人 員 ・ 会 社 数	従業員数(臨時員含む)(人)	359,746	323,540	△ 36,206
	国内(人)	230,948	212,302	△ 18,646
	海外(人)*1	128,798	111,238	△ 17,560
	連結子会社数(社)	900	939	39
	国内(社)	365	340	△ 25
海外(社)	535	599	64	
内部留保額(億円)		22,390	27,362	4,972

\*1 2012年3月、日立GST売却により海外従業員約3万人減少

## 近頃の若いモン

### 『若者の組合離れ』

若者の組合離れが深刻です。入社時に受けた説明は、「労働組合の役割は、労働条件向上と雇用を守ること」というものでした。ところが、近年「スマトラ」により強行される事業再編（労働者切捨て）の中で、組合は役割を果たしていません。別会社へ転属した友人は「組合は何もしてくれなかった」と話していました。一方で、昨年12月の衆院選では民主党候補者の支持を呼び掛けるなど、組合員の思いとはかけ離れたことに注力する組合に対して、職場の反応は冷やかでした。誰からも期待されない組合の存在意義はどこにあるのでしょうか。今度の春闘では賃上げを要求し、組合の存在意義を発揮してほしい。

このコーナーへの投稿をお待ちしています。Eメール: info@hitachikon.netにどうぞ!!



## 要求アンケートの

### 声

#### 健康が心配

2年間他社に出向になる。単身赴任で健康と家族が心配。(日立・大みか)

体の状態が思わしくないの、自身の体調が心配。職場では声をかけてもらって配慮頂いていますが周りは忙しく、やっていくことができず不安。(HOTS・旭)

#### 「人員削減」が困る

仕事が増えるのに、人員削減、リストラの連続で将来に不安。(日立工機)

会社の存続が心配。人員削減のニュースが、モチベーションに影響を与える。早く立ち直ることを望む。(ルネサス・武蔵)



人員削減によって、三直二交替勤務となり体力的に厳しい。金銭面では問題ないが、年末のボーナス減額分を、増えただけで補填しなければならぬ。(ルネサス・那珂)

このままでは生活できない。住宅ローンや子供の教育費に廻せない。出張へ行けば毎回赤字。福利厚生もない。本当に何とかしてほしい。希望を持てる会社にしてほしい。(ルネサス・北伊丹)

給与カットの上、早期退職による人手不足をなんとかしても改善し、生活改善して欲しい。(ルネサス・高崎)

昨年末はリストラへの不安から月80時間以上の残業×数ヶ月を余儀なくされました。現在も業務は多忙ですが残業は規制されている為ノルマ達成が困難な場合は土日頑張るしかありません。今以上の待遇は望むべくも無いかもしれませんが雇用の確保だけは維持していきたいと思っています。リストラ対策本を読むなどの対処をしています。会社建て直しの有効策が見えず、不安な毎日です。固定費削減以外の手は無いのでしょうかが真面目に働き続けているのに生き残れるかわからない理不尽な会社(社会)です。(日立電線)

#### 原発の即停止を

原子力のない生活、増税反対、格差是正を強く求めます。老後を有意義に暮らせる世の中にして欲しい。(HOTS・旭)



デフレ・円高による実質生活水準の低下を脱却してほしい。原発は即停止(廃止)の方向で動いてほしい。(日立・大みか)

#### 将来が不安

期間社員になれたとしても時給なので、お正月休みみといっても困ります。社員の方は、ボーナスもあるし、時給ではないので、いいなあと思います。期間社員にもしなれたとしても、仕事がヒマになったら、終わりになりそうです。不景気なのでとても不安です。(日立アプライアンス・清水)



働き甲斐のある再雇用制度に変えよう。(日立・勝田)

「社員登用あり」という求人が入りましたが、尚契約社員のまま話を聞き不安になりました。工場休日の多い月は低収入になるので生活できません。現状では派遣社員と変わりはありません。せめてシニア社員と同じ待遇の月給制で賞与もあれば先行き明るいのですが・・・。(MESEC・水戸)

社宅や業務手当の廃止により、将来に不安を感じています。(日立システムズ)